



※サンプルのため社名等の情報は伏せています。実際の商品には実名が記載されています。

### が見極め対象か

復調を目指す外食大手の「グループ」が事業再構築へ関係会社を精査するかもしれない。イタリアンレストラン経営のもその一社にあげられている様子。億円台の最終損失が続くなか債務超過額は億円超に。改善策が進まず見過ごしづらい状況になってきたことで、同社の動向が今後の改革ポイントとみられている。

### 個人から提訴された

外食業界で成長著しい傘下で主力業態のが個人から損害賠償請求訴訟を起こされていることがわかった。「既に複数回、期日が開かれている」（周辺筋）ことから、提訴された経緯や審理の行方が注目される。

### マルチフランチャイジー、にトラブル情報

『』『』などの飲食店や介護施設などを展開する同社の近況がチェックされていた。このところ「不採算店退店に伴う家主とのトラブル」の話題が流れていることが背景。コロナ禍の前期は減収ながら黒字決算、それ以前は3期連続赤字だったことを踏まえ、業績回復を評価する声もある。

### グループが資本政策

食肉をはじめ、青果物、水産物にも幅広く携わる業務用卸のは近く、グループにおいて資本政策へ踏み切る見通し。具体的には青果物卸、販売のが減資（資本金万円⇒）する流れ。は前期決算で減収、最終損失となったため、補てんに充てるものとみられる。は月次売上が傾向にあり、本体の食肉事業はV字回復が見込まれているだけに、も復調に期待が寄せられている。

### 業務用野菜卸の資金事情

に関する情報が再び流れた。ここへきて資金事情を見守る向きがあるほか、調達方法など言及する声も聞かれる。取引先の一部も各種情報に反応している様子だ。ペイメント情報が取り沙汰されことも一因か。新型コロナの影響などで売り上げは億円強から減少傾向にある。

**業務用水産加工品の販売、[ ]らに滞留案件**

[ ] および [ ] を案じる声。「一部返済で滞留案件がみられた」（消息筋）として2社の現金収支に関心が及んだ。従来2社は本店を同じ場所に登記していたが、最近は各社で商号や登記の変更を繰り返す変動ぶりに「不透明感を抱く」（周辺筋）との声も聞かれた。

**と [ ] が接近？**

外食産業へ進出した、家具・インテリア製造・小売の [ ] と、『 [ ] 』展開の [ ] に、ここへきて「両社トップ同士の親密度」が取り沙汰されているようだ。[ ] は昨年「 [ ] 事業」を売却し、投資ファンドからの支援を得るなどした経緯がある。

**『 [ ] 』、開業資金一部負担で [ ] 店舗へ**

外食企業の [ ] は『 [ ] 』において今後も新規フランチャイズ加盟店を積極的に増やす。トップの方針で、現在の [ ] 店舗規模から [ ] 店舗達成を掲げている。コンテナタイプの店舗は開業資金の店舗造作工事にかかる部分を [ ] が負担。初期投資を抑え、参入障壁を低くした。モデル収支は月次売り上げ [ ] 万円で営業利益 [ ] %を見込めるとしている。

**外食向け食肉卸、 [ ] が整理へ**

焼き肉店、カレー店、ハンバーガー店などに販路を構えていた [ ] が事業に見切りをつけた。現在は残務整理中。コロナ禍が響き、これまで [ ] 億～ [ ] 億円台あった売り上げが直近で上掲数字まで減少していた。本社・加工場（賃貸物件）については問い合わせが家主に複数寄せられているという。やや老朽化している点を踏まえながらも、立地を含めた条件から同業らが関心を示している様子だ。

※サンプルのため社名等の情報は伏せています。実際の商品には実名が記載されています。

**X 情報**

大手居酒屋チェーン主体に販路を構築する業務用食品卸、  
の業績面が見守られている。2017年期までは 億円以上を計上していた売り上げも20年期は 億円と減少し、21年期は新型コロナの影響で  
に。利益面も20年▲、21年期▲と連続赤字で財務面は水面下状態とみられる。メインバンクは保全登記を設定し、定期ミーティングを実施するなど取引面では弾力策を講じている様子だ。

**X 情報**

『』『』などを展開する最大手の居酒屋チェーン、  
に対し、金融機関が新たなスタンスを取ったことから、同社の財務が改めてチェックされている。は今年 月、  
店舗の閉店を発表。その後も  
決算での赤字が取り沙汰される中、メイン行など 行が「債権譲渡登記」を設定した。子会社の、  
にも同様な対応がされている。

**X 情報**

バイキングレストラン『』の  
と親会社で遊技場経営のとの距離感が改めて見守られている。前期決算で 億円前後から前掲数字まで売上半減となった は資本構成も見過ごしづらいレベルとみられる。今期決算での回復策もあまり伝わってこないところ。としても業績が目立って変動し始めたことから の見極めが迫られつつある様子。

**X 情報**

国内で 業態超、 店の飲食店を展開する の最新情報を消息筋から入手。新型コロナの感染再拡大で金融機関の対応が注視される中、「半年間のリスケジュール延長措置が取られているようだ」（消息筋）。は年商 億円、純損失 億円で 億円から 億円の大幅減収となり財務再建がテーマになっていた。

**X 情報**

業務用食肉卸の を見守る向きが少くない。 の拠点を見直す可能性が取り沙汰されたことが背景にあるが、 は残したまま新工場 に一部事業を移す流れとみられる。一時 億円まで伸ばした売り上げが上掲数字まで減少し、このところ最終利益や財務バランスがみえづらい点も気にかけている。